
永峰 高志 Takashi Nagamine, Violin

3歳よりヴァイオリンを始める。ヴァイオリンを鷺見三郎、福元裕、田中千香士、ジャン・ローランの各氏に師事。室内楽を巖本真理弦楽四重奏団、伊達純、ルイ・グレラーの各氏に師事。指揮を秋山和慶氏に師事。1974年全日本学生音楽コンクール東日本大会奨励賞を受賞。1980年東京藝術大学卒業、NHK交響楽団に入団。第1ヴァイオリン次席奏者、第2ヴァイオリン首席奏者として活躍する。2012年NHK交響楽団より同団への功績が認められ第32回有馬賞を授与される。2015年同団を退団する。現在、オーケストラとの共演やリサイタル等ソリストとして、ウォルフガング・サヴァリッシュ、ペーター・シュミードル、ヴェンツェル・フックス各氏との共演等室内楽奏者として活躍している。また、仙台フィルハーモニー管弦楽団を指揮し好評を得るなど、最近では指揮者としても活動の場を広げている。国立音楽大学教授、洗足学園音楽大学客員教授、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にもあたる。2010年より岩手県久慈市文化会館（アンバーホール）の芸術監督を務めている。

使用楽器 1723年製ストラディヴァリウス「ヨアヒム」（国立音楽大学所蔵）

五郎部 俊朗 Toshiro Gorobe, Tenor

北海道教育大学旭川校卒業。1986年渡伊、ミラノにて研鑽を積む。4年間の留学中にトーティ・ダル・モンテ（1位）、トゥールーズ（2位）、マリオ・デル・モナコ（3位）、チャイコフスキー（バッハ優秀賞）、その他、数々の国際コンクールにて入賞。イタリア・トレヴィーゾ市立歌劇場、スイス・ビール市立歌劇場などに出演した。1990年に帰国し、藤原歌劇団公演「チェネレントラ」「夢遊病の女」で成功を収め、第19回ジロー・オペラ賞「新人賞」を受賞。その後も「セビリアの理髪師」「愛の妙薬」その他、数多くのオペラに主演し好評を博す。約20年間にわたり藤原歌劇団の主役テノールを務めた。また、宗教曲・オラトリオの分野でも高い評価を得て、コンサートのソリストとしてオーケストラや合唱団への客演も数多い。1992年松本隆現代訳によるシューベルト「冬の旅」全曲CDで話題を呼ぶ。1995年「舞踏への誘い～イタリア歌曲の世界～」、2000年「藤山一郎とその時代～歌は美しかった～」など、合計10枚のCDをリリースしている。藤原歌劇団団員、沖縄県立芸術大学教授。

菅原 潤 Jun Sugawara, Flute/Piccolo

秋田市出身。国立音楽大学卒業。フルートを、故木下芳丸、斉藤匠、故中谷望、小野安広、畠山久雄の各氏に師事。1982年、新星日本交響楽団に入団。1990年、NHK交響楽団に入団。現在、N響での演奏活動の他、ソリストや室内楽の奏者として数多くの演奏会に出演している。また、ピッコロのスペシャリストとして、ピッコロのために書かれたためづらいオリジナル作品や、オーボエ等のための作品を自らアレンジし、リサイタルなどで演奏し、ソロ楽器としてのピッコロの魅力を広め、各地で大好評を得ている。洗足学園音楽大学教授、国立音楽大学非常勤講師。木製のフルート、ピッコロと、お琴との共演のCD「Collaboration」、ピッコロのソロCD「Dedication for Piccolo」「Piccolo Album」「Piccolo Junction1,2」（共にレコード芸術誌で特選盤）などをリリース。

三木 香代 Kayo Miki, Piano

兵庫県生まれ。京都市立芸術大学卒業。日本音楽コンクールピアノ部門入選。第11回シヨパン国際ピアノコンクールにて最優秀演奏賞を受賞。その後もエリザベート王妃国際音楽コンクールピアノ部門入賞、第4回日本国際音楽コンクールピアノ部門日本人作品最優秀演奏賞、ウィリアム・カペル国際ピアノコンクールにてブシェール記念賞を受賞するなど、国際コンクールで数々の賞を受賞。東京文化会館でのリサイタルが評価され、第15回日本シヨパン協会賞を受賞。姫路市芸術文化賞芸術年度賞、龍野市民文化奨励賞を受賞。横浜市招待国際ピアノ演奏会に出演。オーケストラとの協演、国内外でのリサイタル、室内楽、CDやNHK-FMの録音など、多彩な活動を展開。作品への深い共感に基づく知的で繊細な演奏は高く評価され、ソロだけでなくアンサンブルピアニストとしても多くの演奏家の信頼を得ている。現在国立音楽大学教授。日本シヨパン協会理事。

（2017年8月現在・転載禁止）

公益財団法人 三井住友海上文化財団

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-6-1 三井住友海上テブコビル 5階

TEL : 03-3562-9523 / FAX : 03-3535-7635 / E-mail : tikon@ab.inbox.ne.jp